



自立

自立とは、「他者からの援助に依存せず、自分の力で身を立てて生活すること」ことと解釈できます。

また、自立は、以下の 3 つの要素から成り立っているようです。

- 生活的自立…炊事や掃除、洗濯、健康管理など日常生活を自分で行うことができること
- 経済的自立…自分で収入を得て、生活をしていくこと
- 精神的自立…自分の考えや意思に基づいて物事を決めたり、感情をコントロールしたりすること

生まれたばかりの赤ちゃんは当然すべてにおいて自立はできず、周囲へ依存するしか術がありません。また何らかの事情がある場合も必要に応じた援助を受けることもあるかと思えます。

しかし、援助を受けること、依存することを前提とし、自立することを放棄することはどうでしょうか。

それは、自分の人生を放棄していることにも等しいのではないかと思えます。誰かに依存し、してもらえないと感情をあらわにしているのは、とても社会を形成する一人として誰も相手にしなくなるのではないのでしょうか。

社会を形成する一人として十分な力-自立する力-を獲得するには、ある日突然覚醒するようなものではなく、幼い時からの学習と体験の繰り返しによって培われると思えます。

子どもたちが発達段階に応じた適度な負荷に出会い、それらを自分の力で乗り越えていくことは、社会に出るための自立という必要不可欠な力を得ることにつながっていると思えます。